

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】令和3年12月2日(2021.12.2)

【公開番号】特開2019-202311(P2019-202311A)

【公開日】令和1年11月28日(2019.11.28)

【年通号数】公開・登録公報2019-048

【出願番号】特願2019-30467(P2019-30467)

【国際特許分類】

B 01 F	7/16	(2006.01)
B 01 F	15/02	(2006.01)
B 01 F	13/00	(2006.01)
H 01 M	4/139	(2010.01)
H 01 M	4/88	(2006.01)

【F I】

B 01 F	7/16	F
B 01 F	15/02	A
B 01 F	15/02	B
B 01 F	13/00	Z
H 01 M	4/139	
H 01 M	4/88	

【手続補正書】

【提出日】令和3年10月20日(2021.10.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

さらに、第1経路の先端が、第2経路の先端より水平部に接近していると、第2経路の先端から排出される液体を含む成分の多くが、水平部との接触によって、直ちに回転部材の筒状部付近に移送される。

これにより、回転部材による遠心力によって回転部材と内壁面との間に攪拌対象を膜状に存在させた状態で行う攪拌の効果をより一層高めることができるようになる。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

液体を含む成分の投入は第2投入口4を経由して行われ、投入された液体成分は第2経路41内を降下する。

第2経路4は第1経路3に比べて短く、容器2内側の先端開口が容器2内の比較的高い位置に配置されている。また、容器2内側の先端開口の直下は、回転部材7の筒状部8の内周面82に近接している。

これにより、容器2内側の先端開口から排出される液体を含む成分の多くは、直ちに回転部材7の筒状部8の内周面82付近に移送される。